

NACISIS-CAT Session 番外編

◦ 使いこなそう！

CiNiiとNDL OPAC(及びNDLサーチ)
二(三)大書誌データベースの有用性

NACISIS-CAT Session Special

Usability comparison of two (or three)
databases: CiNii and, NDL-OPAC (plus
NDLSearch)

パネリスト

上村順一 (Jun'ichi Uemura, NII)

大柴忠彦 (Tadahiko Oshiba, NDL)

CiNii / NDL OPACの比較 I

提供者	国立情報学研究所		国立国会図書館
データベース	CiNii Books (NACSIS-CAT)	CiNii Articles	NDL-OPAC
定義	NACSIS-CATのデータを利用した検索サービス 各図書館が作成する共同目録 現物（資料）は各図書館が所蔵	NII-ELSのデータを中心とした国内雑誌論文の検索サービス	NDLが作成する蔵書目録 全国書誌、点字図書・録音図書全国総合目録も提供 現物（資料）を所蔵
収容範囲	書籍（紙・電子媒体の本・雑誌） 視聴覚資料	雑誌記事 【参考】博士論文(CiNii Dissertations)	書籍（紙・電子媒体の本・雑誌） 視聴覚資料 雑誌記事
分類	分類システムと入力作成館の自由 入力は任意	--	NDLC（独自）、NDC 入力については「 整理区分ごとの書誌データ水準 」参照
Subject Heading	参加館が付与（どの件名表を基準にするかは作成館の裁量による） 必須ではない	--	NDLSH（独自） 入力については「 整理区分ごとの書誌データ水準 」参照
著者名典拠	独自の著者名典拠 参照ファイルはNDLとLCの典拠	--	独自の著者名典拠 Web NDL Authorities（NDLで作成し維持管理するすべての典拠データを一元的に検索・提供するサービス）

CiNii / NDL OPACの比較 2

提供者	国立情報学研究所		国立国会図書館
データベース	CiNii Books (NACSIS-CAT)	CiNii Articles	NDL-OPAC
書誌データ作成者	参加館	各連携サービス提供元	国立国会図書館
書誌データの量	書誌数: 1,104万件 所蔵数: 1億3,098万件	約1,800万件	書誌データ: 1,160万件 和図書: 約448万件、和雑誌: 約16万タイトル 和新聞: 約2万8千タイトル、洋図書: 約174万件 洋雑誌: 約6万タイトルなど (平成26年度末) 雑索記事索引データ: 1,170万件
書誌の品質管理	図書: 作成館が修正責任を負う 雑誌: 参加館からの報告を受け、NII品質管理室で一括コントロール クオリティに差はないが、任意項目の豊富さは差が出る	問題があれば都度連携サービス元に修正依頼を行っている	資料の特徴や提供の目的などによりNDLで作成・提供する書誌データの水準を定めている 「整理区分ごとの書誌データ水準」参照
書誌データの利用方法 (ダウンロード)	個別版として参加館の書誌・所蔵情報を一括提供している	--	MARC形式 (JAPAN/MARC MARC21フォーマット)、MARCタグ形式、記号区切り形式等でダウンロードが可能

CiNii / NDL OPACの比較 3

提供者	国立情報学研究所		国立国会図書館
データベース	CiNii Books (NACSIS-CAT)	CiNii Articles	NDL-OPAC
メタデータを別のデータベースなどに提供しているか	外部提供インタフェース (API) あり CC BY 4.0でデータセットを公開中	外部提供インタフェース (API) あり 雑誌記事のメタデータの提供 (PrimoCentralなど)	WorldCatへの書誌データ (雑誌記事索引を含む) の提供 VIAFへの参加 雑誌記事のメタデータの提供 (CiNii Articles、PrimoCentralなど) 外部提供インタフェース (API) は、NDLサーチにあり
図書館間貸出 (ILL)	希望すればILLに参加可能 (事前に利用申込が必要) Online ILL機能が付いているが、現実的に海外からのILL依頼は困難	--	NDLのサイトからILL申込可 (ILL参加承認手続きが必要) 但し、館外貸出禁止、コピー禁止など制約有 雑誌記事については、複写申込みとのリンクあり
文献複写物の入手	ERDB-JP、NII-ELS、J-STAGEの情報を元に電子版へのリンクがあればボタンあり	本文へのリンク情報があればリンクボタンあり	事前に利用登録をすれば NDLのサイトから複写申込可 デジタル化された資料の内、著作権がクリアされているものについては、デジタル画像とのリンクあり
その他のサービス		<u>電子図書館 (NII-ELS)</u> 終了に伴い <u>CiNii機関定額制</u> も終了 (但し、サービスは2017年3月終了) →J-STAGEを中心にコンテンツは移行	NDLサーチなどによる <u>情報ポータル</u> の提供 またNDLサーチでは他の機関が作成するデータベースも横断検索できる 所蔵資料の一部デジタル化とその公開 (近代デジタルライブラリー、歴史的音源データベース: 但し事前に利用申込が必要)

テーマⅠ 件名付与

The logo for CiNii, consisting of the letters 'CiNii' in a bold, sans-serif font. The 'i's are stylized with vertical bars.

件名の入力はNACSISカタログ
ガーの自由裁量による
→件名検索が不十分になるの
では？



NDL-OPAC

件名は必ず付与
→NDLSHとBSH, LCSHの関
係は？

テーマ2 新しい目録規則の採用は？

洋書	和書
Resource Description and Access 2014年半ば ドイツの著者名典拠レコード(GND)に採用 2015年10月 タイトルレコードに採用 2016年 ドイツ語圏スイスとオーストリアで採用	2017年度新規規則の公開 (JLA及びNDL) 書誌データ作成機関の実務者を対象とした実務研修 (JLA及びNDL) 新規規則の策定のみならず、その普及と維持管理についてもNDLとJLA（日本図書館協会）が連携して行う。

テーマ3 デジタル化された和古書



デジタル化されていれば各
図書館のデータベースへ



NDL-OPAC

デジタル化されていれば
NDLのデータベースで見ら
れる場合もある
→館内限定資料の制限有

テーマ4 デジタル化された雑誌記事

The logo for CiNii, consisting of the text "CiNii" in a bold, sans-serif font. The "i"s are stylized with vertical bars.

NII-ELS（電子図書館）終了
→移行先は3つ

1. J-STAGE
2. JAIRO Cloud
3. 上記以外（自組織、他）



NDL-OPAC

デジタル化されていればNDL
のデータベースで見られる場
合もある

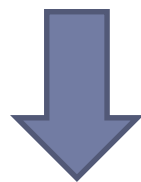
→館内限定資料の制限有

テーマ5 デジタル化されていない 雑誌記事の入手

事例 その1

座談会記事「世界史的立場と日本」

In: 中央公論 昭和17年1月



NDL、CiNii共に雑誌記事のメタデータがなく、ページ数がわからない

NDLにページ数を記載せず複写依頼

テーマ5 デジタル化されていない 雑誌記事の入手

事例 その2

嶋野智仁「金融化が日本経済の資本蓄積
に与える影響に関する実証分析」

In: 季刊経済理論 第51巻4号



知り合いに頼んで送ってもらった

テーマ5 デジタル化されていない 雑誌記事の入手

The logo for CiNii, consisting of the text "CiNii" in a bold, sans-serif font. The "i"s are stylized with two vertical bars.

日本国内ではNACSIS-ILL
→欧州の図書館では事実上、
参加困難

The logo for NDL-OPAC, featuring a small 3D icon of a red and white book on the left, followed by the text "NDL-OPAC" in a bold, sans-serif font.

事前に利用登録していれば検
索画面から発注可能
支払方法：銀行振込または
クレジットカード

最後に CiNii Dissertationに関して質問



使い分けは？

個々の博士論文のデジタル化は？

将来の展望

CiNii Articles

CiNii Books

CiNii Dissertations





御静聴、ありがとうございました。
Thank you for your attention!
Vielen Dank für Ihre Aufmerksamkeit!

NACISIS-CAT User Group

Ryuko Hasunuma, JKI

Akira Hirano, SISJAC

Nobutake Kamiya, Zürich

Izumi Tytler, Oxford